

表5 - 10(2) 事業による影響が想定される環境要素と類型区分との関係及び調査・予測の留意点等（火力発電所）

影響要因と環境要素	発電所（火力）																
	工事の実施						土地又は工作物の存在				供用						
	<ul style="list-style-type: none"> ・工事中資材の搬入 ・建設機械の稼働 ・造成等の施工による一次的な影響 						<ul style="list-style-type: none"> ・地形改変及び施設の使用 				<ul style="list-style-type: none"> ・施設の稼働(排ガス/排水/温排水/機械等の稼働) ・資材等の搬入 ・廃棄物の発生 						
調査・予測の留意点等	濁り・堆積物	水中照度	底質	底質からの溶出	騒音・振動	環境への負荷	波浪	流動	干出時間	地形・基質	砂の移動(漂砂)	水質	水温	塩分	流動	騒音・振動	環境への負荷
想定される主な影響	<ul style="list-style-type: none"> 【濁りの発生】 ・水中照度の低下による海草藻類の変化、基礎生産量の変化 ・堆積物の増加による底質の変化 ・基礎生産量及び底質の変化による水質の変化 【底質の改変】 ・底質の変化による汚濁物質の溶出に伴う水質の変化 【騒音の発生】 ・鳥類・魚類の忌避 						<ul style="list-style-type: none"> 【海岸形状の変化】 ・波浪の変化による漂砂変化 ・流動の変化による水質の変化 ・潮汐・干出時間の変化による生物生息空間の減少 ・漂砂及び水質の変化による底質の変化 【海域空間の減少】 ・生息空間の減少による個体群の減少 ・個体群の減少による生態系機能の減少および基礎生産量の変化 【海底基盤の変化】 ・付着基盤の変化による生態系機能の変化 				<ul style="list-style-type: none"> 【排水の発生】 ・水質の変化による基礎生産量の変化 ・堆積物の増加による底質の変化 ・基礎生産量及び底質の変化による水質の変化 【温排水の発生】 ・水温の上昇による基礎生産量の変化 ・水温の上昇及び取水の連行による生物の高温障害・忌避 ・流動の変化による水質の変化 【騒音の発生】 ・鳥類・魚類等の忌避 						
類型による特徴	<ul style="list-style-type: none"> 【濁りの発生】 ・水中照度の低下は主に海草藻場、サンゴ礁の類型に影響する。 【底質の改変】 ・底質の変化は砂質、砂泥底域、干潟、海草藻場、マゴロブ林、ヨシ原、貝床の類型に影響するが、底質からの溶出はこのうち基質が泥質～砂泥質の類型に影響する。 						<ul style="list-style-type: none"> 【海岸形状の変化】 ・潮汐・干出時間の変化は、海水域及び汽水域を通じて主に潮間帯の類型に影響する ・漂砂の変化は、潮間帯、潮下帯を通じて主に砂浜、砂泥底域、干潟、海草藻場、マゴロブ林、ヨシ原、貝床の類型に影響する 【海域空間の減少】 ・個体群の減少により影響を受ける生態系機能は類型により異なる(別表参照) 【海底基盤の変化】 ・付着基盤の変化により影響を受ける生態系機能は類型により異なる(別表参照) 				<ul style="list-style-type: none"> 【温排水の発生】 ・温排水による水温の変化は特に潮下帯の類型に影響する。 						
調査・予測の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 【濁りの発生】 ・海草藻類とそこに生息する生物の生育・生息状況 ・対象海域の濁りの分布、変動状況 ・工事による濁りの発生状況 【底質の改変】 ・対象海域の底質の性状、有機物等含有量 【騒音の発生】 ・鳥類・魚類の飛来地・生息地の状況 ・工事による騒音の発生状況 						<ul style="list-style-type: none"> 【海岸形状の変化】 ・海域の流動、波浪、水質、底質及び漂砂の状況 【海域空間の減少】 ・生物の生息状況及び基盤等生息環境の状況 ・生態系の構造と機能の特性 ・埋立による改変区域 【海底基盤の変化】 ・対象海域の付着基盤及び付着生物の状況 ・新たに形成される付着基盤の規模、性状等 				<ul style="list-style-type: none"> 【排水の発生】 ・海域の水質の分布・変動状況、流入負荷量の状況 ・施設からの排水による負荷量 【温排水の発生】 ・海域の水温分布・変動状況 ・温排水の排水量・排水位置、冷却水の取水量、取水位置 ・排水先の生物の生息状況 【騒音の発生】 ・鳥類・魚類の飛来地・生息地の状況 ・機械の稼働、関連車両等による騒音の発生状況 						
留意点等	<ul style="list-style-type: none"> 【濁りの発生】 ・バツグランドの濁りの状況により、影響の度合いが異なる。 ・工事により発生する濁りの性状、発生位置、発生期間等により影響の度合いが異なる。 【底質の改変】 ・底質の性状、有機物含有量及び底層水の水質により栄養塩等の溶出が変動する。 【騒音の発生】 ・鳥類や魚類の種類により音に対する行動が異なる。 ・工事により発生する騒音の程度、発生位置、発生期間等により影響の度合いが異なる。 						<ul style="list-style-type: none"> 【海岸形状の変化】 ・漂砂の変化のタイムスケールは、一般に流動、水質等よりはるかに長いことを考慮する必要がある。 【海域空間の減少】 ・生態系の機能に及ぼす影響については、類型に応じて重要と考えられる機能(別表参照)を選定し、調査・予測を行う。選定に当たっては、人為的影響で損なわれることにより、生態系の健全性に影響を与える機能、物質循環の機能、生物学的機能にあっては、その機能を担う生物種(群集)に関する評価が可能であること、に留意する。 				<ul style="list-style-type: none"> 【排水の発生】 ・排水先の汚濁状況や汚濁機構により影響の度合いが異なる。 ・排水が量的に少なくとも、長期に及ぶためその影響が蓄積する可能性が考えられる。 【温排水の発生】 ・排水先の水温の分布・変動特性により影響の度合いが異なる。 ・取排水位置により影響の範囲が異なる。 【騒音の発生】 ・鳥類や魚類の種類により音に対する行動等が異なる。 						